

第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

対象 第4学年3組

指導者 外山 和奈

- 1 主題名 きまりを守るのは [内容項目] C 規則の尊重
 教材名 「雨のバスでいりゅう所で」(出典：東京書籍 新しい道徳④)

2 本時について

(1) ねらい

約束やきまりの意義を理解し、相手や周りの人の立場に立って考え行動し、きまりを守ろうとする態度を育てる。

(2) 本時の展開

	主な発問(発問○ 中心発問◎) 予想される児童の反応(C)	・指導上の留意点 ◇評価規準(評価方法)
導入	1 ルールやマナーについて考える。 学習問題 みんなが気持ちよく過ごすために大切なことはなんだろうか。	・学校内の決められたルールや、マナーについて紹介し、本時の学習への方向付けを行う。
展開	2 教材「雨のバスでいりゅう所で」を読んで話し合う。 ○バスが見えたとき、よし子が駆けだしてバス停の先頭に並んだのはどんな思いからでしょうか。 C席に座りたい。 C雨にぬれたくないから早く乗りたい。 ○よし子の行動についてどう思いますか。 C周りの人のことを考えたら順番を抜かすのはよくない。 C軒下は雨宿りとして使っていていりゅう所に並んでいたわけではないから悪くない。 ◎よし子は自分がしたことを考え始め、どのような気持ちになったでしょうか。 (表)(言) C我慢すればよかった。(自分の思い)	・場面絵を提示し状況を把握させながらルールを守らないよし子の思いを想像できるようにする。 ・行動の善悪の判断だけでなく、なぜそう考えたかの理由をはっきりさせ、多様な考え方があることに気付くことができるようにする。 ・バス停に並ぶことはきまりではないが、なぜ皆並んでいるのか考えられるようにする。 ・よし子がルールを守らなかった自分を振り返りながら考えていることについて、気持ちを具体化しながら多面的・多角的に考えられるようにする。

<p>Cお母さんだけでなく他の人も怒っているかもしれない。(他者の怒り)</p> <p>C他の人も乗りたかったのは一緒だった。(他者の思い)</p> <p>Cルールをまもればよかった。(ルールの意義)</p> <p>3 学習問題について考える。</p> <p>○みんなで使うものや場所を使うときにはどのようなことに気をつけたらよいだろうか。(尊)</p> <p>C順番を守って並ぶ。</p> <p>C次に使う人のことを考える。</p>	<p>・グループで話し合い、互いの考えを伝え合うことによって、多様な考え方を知る。</p> <p>・本時を振り返り、きまりやマナーの意義について考えを深められるようにする。</p> <p>◇ルールを守らないと自分も周りの人も気持ちよく過ごせない等の約束やきまりの意義について考えている。(ワークシート)</p>
<p>終末 4 教師の説話を聞く。</p>	<p>・きまりを守って気持ちよく過ごせた経験談を話す。</p>

(3) 板書計画

・順番を守ってならぶ。

・次に使う人のことを考える。

ぐいっと
かたを
つかむ

場面絵

だまっただまま

場面絵

「みんなが気持ちよく過ごすために大切なこと
ルールを守ること
給食の順番を守ること
」雨のバスでいりゆう所で」

場面絵

席にすわりたい
雨にぬれたくない

「悪い」

・周りの人のことを 軒下は雨宿りの場所だから 考えていない。 本当の列とは言えない。

「悪くない」

よし子は自分がしたことを考え始め
どのような気持ちになったでしょうか。

・申し訳ない気持ち↓他の人もすわりたかったかな
・もやもやした気持ち↓がまんすればよかった
・悲しい気持ち↓ルールを守ればよかったのに、お母さんにはずかしい思いをさせてしまった。

気持ちよく過ごすために大切なこと